株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
配当金受領株主確定日	3月31日、9月30日　その他必要あるときはあらかじめ公告して定めた日
定時株主総会	毎年6月に開催
株主名簿管理人および特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社　証券代行部 TEL　0120-232-711（フリーダイヤル）
上場証券取引所	東京証券取引所　札幌証券取引所
公告方法	電子公告により行う（http://www.hokkanholdings.co.jp/）に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載いたします。

（ご注意）

1. 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主優待のお知らせ

毎年3月31日（基準日）現在の株主名簿に記載された株主様に対し、当社グループの容器に入った缶詰を年1回、以下のとおり贈呈いたします。

贈呈基準

所有株式数	ご優待内容
1,000株以上5,000株未満	2,000円相当の缶詰詰合せ
5,000株以上10,000株未満	3,000円相当の缶詰詰合せ
10,000株以上	5,000円相当の缶詰詰合せ

HOKKAN HOLDINGS

ホッカンホールディングス株式会社

〒100-0005　東京都千代田区丸の内二丁目２番２号

TEL03-3213-5111（代表）

URL: http://www.hokkanholdings.co.jp/

UD FONT

FSC www.fsc.org ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C013080

VEGETABLE OIL INK

この冊子は環境への配慮のため、FSC森林認証紙とベジタブルオイルインキを使用しています。

株主の皆様へ

HOKKAN REPORT Vol.19

第90期 株主通信

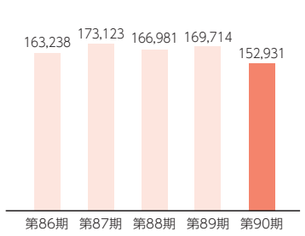
2014年4月1日～2015年3月31日

ホッカンホールディングス株式会社

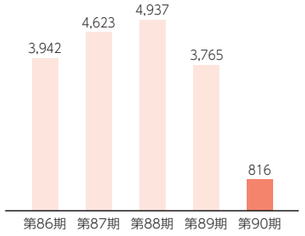
（証券コード：5902）

HOKKAN HOLDINGS

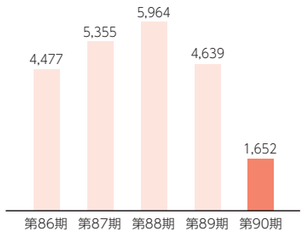
売上高 (単位：百万円)



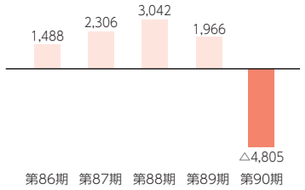
営業利益 (単位：百万円)



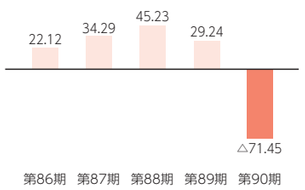
経常利益 (単位：百万円)



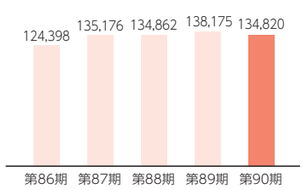
当期純利益 (単位：百万円)



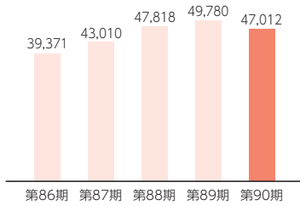
1株当たり当期純利益 (単位：円)



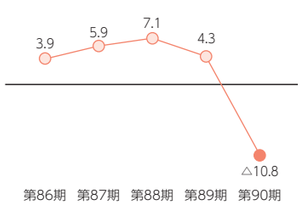
総資産 (単位：百万円)



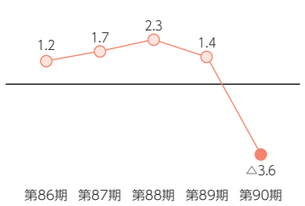
純資産 (単位：百万円)



ROE (単位：%)



ROA (単位：%)



株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申しあげます。

ここに、第90期（2014年4月1日から2015年3月31日まで）の営業概況ならびに計算書類につき、ご報告申しあげます。

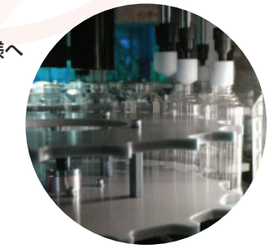
事業の経過および成果

当連結会計年度におけるわが国経済は、消費税率の引き上げに伴う駆け込み需要の反動が徐々に緩和されるなか、個人消費は底堅く推移しており、また、企業収益につきましても円安効果を受けやすい輸出産業を中心に改善の動きがみられるなど、景気は緩やかに回復する状況で推移いたしました。

当連結会計年度における清涼飲料業界の状況につきましては、4月からの消費税率の引き上げに伴う駆け込み需要の反動や、夏場の天候不順により低温が続いたこと、さらには西日本を中心とした台風や豪雨の影響等が重なりましたため、市場は5年ぶりの前年比マイナス成長という結果となりました。なお、カテゴリー別ではミネラルウォーターにつきましては順調に推移いたしましたものの、その他の清涼飲料（炭酸飲料・スポーツドリンク・茶系飲料等）は前年を下回る結果となりました。また、缶コーヒーにつきましても、コンビニエンスストアで展開されているカウンターコーヒーが広く普及した影響や自動販売機による販売が低迷したこと等により前年を下回る結果となりました。

代表取締役社長
工 藤 常 史

食品缶詰業界の状況につきましては、水産缶詰では原料の高騰に伴う製品価格の値上げや、夏場の海水温低下の影響により水産原料の水揚げが大幅に遅れたことが影響し、前年を下回る結果となりました。また、農産缶詰につきましても、急激に進んだ円安による輸入原料の高騰に伴う製品価格の値上げ等により前年割れの結果となりました。



事業別の概況

容器事業

（メタル缶）

①飲料缶・食品缶

飲料用スチール空缶につきましては、主力の缶コーヒーが、カウンターコーヒーの普及や一部お客様のアルミ缶化の影響を受けたため、飲料用スチール空缶全体では前年を下回る結果となりました。また、食品缶詰用空缶につきましては、水産缶詰が原材料価格の高騰の影響を受けたため、前年を下回る販売となりましたものの、農産缶詰においては主力のスイートコーン缶が増産となりましたため、食品缶詰用空缶全体では前年を上回る結果となりました。

②その他

エアゾール用空缶につきましては、当社独自の開発容器の販売が順調に推移し、また、虫除けスプレーがデング熱の感染騒動の影響により増加するなど、前年を大きく上回る結果となりました。

美術缶につきましては、ギフト商品が減少したものの、洋菓子関連が堅調に推移するなか、新製品の受注などもありましたため、美術缶全体では前年を上回る結果となりました。

（プラスチック容器）

①飲料用ペットボトル

飲料用ペットボトルにつきましては、夏場の天候不順の影響やお客様による自社内製造の影響を受けたため、前年を下回る結果となりましたものの、プリフォーム（ボトル成形前の中間製品）につきましては積極的な営業活動を展開したことにより前年を上回る結果となりました。

②食品用ペットボトル

食品用ペットボトルにつきましては、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動による影響等により、醤油用ボトル・食用油用ボトルの販売が減少したため、食品用ペットボトル全体では前年を下回る結果となりました。

③その他

一般成形品につきましては、農薬・園芸品が天候不順の影響を受け、前年を下回りましたものの、化粧品用や住宅用洗剤の新製品を受注するなど前年を上回る結果となりました。また、バッグインボックスも飲料水用を中心に順調に推移したことにより一般成形品全体では前年を上回る結果となりました。

以上の結果、容器事業全体の売上高は、427億20百万円（前年度比12.2％減）となり、営業利益は45百万円（前年度比85.5%減）となりました。

充填事業

（缶製品）

缶製品につきましては、通常缶によるコーヒー製品では、マルチパック対応ラインの増強等により販売増を目指してまいりましたが、夏場の天候不順やカウンターコーヒーの普及の影響により市場が低迷したため、前年を下回る販売となりました。また、リシール缶（ボトル缶）および炭酸飲料につきましても減少となり、缶製品全体では前年を下回る結果となりました。

（ペットボトル製品）

ペットボトル製品につきましては、アセプティック（無菌充填）を含む大型ペットボトルが夏場の天候不順の影響を受けたものの、ミネラルウォーター用の新ラインが５月から稼働するなど、前年を上回る販売となりました。また、アセプティック（無菌充填）を含む小型ペットボトル製品は、夏場の天候不順に加え、お客様による自社生産の拡大の影響を受けたため、前年割れの結果となり、ペットボトル製品全体では前年を下回る結果となりました。

以上の結果、充填事業全体の売上高は1,044億47百万円（前年度比9.8％減）となり、営業利益は13億98百万円（前年度比66.1%減）となりました。

機械製作事業

機械製作事業につきましては、自動車部品生産機械や規格製品である液体小袋充填機が好調に推移し、また、グループ内における容器事業用生産ラインや飲料充填用生産ラインの受注もありましたため、機械製作事業全体の売上高は、15億91百万円（前年度比29.3％増）となり、営業利益は2億81百万円（前年度比51.8%増）となりました。

その他

インドネシアにおいて、容器（ペットボトル）製造から内容物の充填までを一貫しておこなうPT.HOKKAN INDONESIA（ホッカン・インドネシア）は、同国の高い経済成長率が続くなか、都市部を中心に飲料製品の需要は確実に増加しており、同社においてもコーヒー飲料を中心に順調に販売を拡大させました。また、成長期にある同国の飲料市場でさらなる受注の獲得を目指し第２製造ラインの増設をおこない、本年３月より商業生産を開始いたしました。

また、第１四半期連結会計期間より、ベトナムにおいて清涼飲料の受託充填事業を営んでおりますNIHON CANPACK (VIETNAM)Co.,LTD.（日本キャンパック・ベトナム）を新たに連結の範囲に含めております。

以上の結果、工場内運搬作業等をおこなっております株式会社ワーク・サービスを加えたその他の売上高は41億72百万円（前年度比4.8％増）となり、営業利益は1億61百万円（前年度比23.8％減）となりました。

以上により、当連結会計年度における売上高は1,529億31百万円（前年度比9.9％減）、営業利益は8億16百万円（前年度比78.3％減）、経常利益は16億52百万円（前年度比64.4％減）となり、減損損失を特別損失に計上したことにより、当期純損失48億5百万円（前年度は当期純利益19億66百万円）となりました。

対処すべき課題

来期のわが国経済の見通しにつきましては、雇用や所得環境の改善傾向が続くなか、企業収益は良化していくものと予想され、全体としては引き続き緩やかな回復基調で進むものと思われます。

このような状況のなかで、清涼飲料市場を主たるマーケットとしております当社グループを取り巻く環境につきましては、競争激化の影響を受けたお客様からのコストダウン要請が継続しているのに加え、引き続き円安の影響による電力料金等エネルギーコストの高止まりが続くものと予想されております。特に容器事業における飲料用スチール空缶の分野においては、一部お客様によるアルミ缶化や飲料事業からの撤退の影響、そしてカウンターコーヒーの定着化等により、工場稼働率が低下することが予想されるなど大変厳しい状況が続くものと思われます。

当社グループ中期５カ年経営計画「ACTIVE-5」は、このような環境の変化の影響を大きく受けたため、種々対策を講じてまいりましたが、残念ながら最終年度の数値計画の達成が見込めない状況となりました。しかしながら、同計画で掲げております「既存事業の持続的成長」に向け、充填事業のスクラップアンドビルドとして、本年４月より稼働を開始しました株式会社日本キャンパック新アセプライン稼働による生産性の改善や、機械製作事業における外部販売の拡大を図ってまいります。また、特に容器事業における収益改善に向けた事業構造改革につきましては、一層のスピード感をもってさらに進めてまいります。「新たな事業展開への挑戦」としましては、海外事業分野におけるPT.HOKKAN INDONESIA（ホッカン・インドネシア）の第２製造ライン稼働開始による収益拡大の実現や、さらなる海外事業の拡大に向けて取り組んでまいります。また、新規事業分野においては、平成27年度に予定されている化粧品製造会社の株式会社コスメサイエンス、および乳製品製造会社のくじらい乳業株式会社の新工場稼働や軟包材容器製造会社の日本キム株式会社をグループ化したことによる容器事業分野の拡大など、当社グループの安定的成長に向けた取り組みを引き続き進めてまいります。

さらに、当社グループは今後も企業の社会的責任を果たすべく、コーポレートガバナンスのさらなる充実を図り、グループ企業の透明性と健全性を引き続き強化してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申しあげます。

ホッカンホールディングスはグループ事業会社全体の力を統合し、さらに高いレベルの「ものつくり力」を追求します。

当社は持株会社として、各事業を強化するとともに、
グループ企業とのアライアンスの発展を図ってまいります。
そして、“最大より最高”をモットーに、品質と価格の両面を併せ持つ
「ものつくり力」を高めてまいります。

HOKKAN HOLDINGS

HOKKAI CAN

容器製造／販売

「ホッカンエバーグリーン」は、同社のルーツである北海道の大地を象徴する緑、永遠の若さ、生命力を表しています。

食品用、飲料用などの空缶、ペットボトルなどのプラスチック容器の開発、生産、販売など幅広くおこなっています。

北海製罐株式会社

昭和製器株式会社　日東製器株式会社
東都成型株式会社　株式会社ワーク・サービス
PT.ホッカン・インドネシア
ホッカン・タイ
株式会社コスメサイエンス

2015年3月期 売上高
42,720 百万円

NIHON CANPACK

充填

「キャンパックアクアブルー」は、良質の水に恵まれた工場を持つ同社のメリットから、品質と潤いを表しています。

大手ブランドの飲料を空缶やペットボトルに充填する受託充填企業です。調合から物流までを請け負う総合力を持っています。

株式会社日本キャンパック

株式会社西日本キャンパック
日本キャンパック・マレーシア
日本キャンパック・ベトナム
くじらい乳業株式会社

2015年3月期 売上高
104,447 百万円

OS MACHINERY

機械製作

「オーエスプレシションオレンジ」は、超精密度を追求する同社の各種金型と各種製造機械の安全性を表しています。

北海製罐株式会社や株式会社日本キャンパックで使用する超精密度の金型から製造機械、総合一般の製造ラインまで提供する機械メーカーです。

オーエスマシナリー株式会社

KE・OSマシナリー株式会社

2015年3月期 売上高
1,591 百万円

PT.HOKKAN INDONESIA（ホッカン・インドネシア）第2ライン稼働へ

昨年６月発行の株主通信Vol.17にご紹介しました当社グループのPT.HOKKAN INDONESIA（ホッカン・インドネシア）は従来までの生産設備１ラインから２ラインに拡充されました。

株式会社コスメサイエンス　新工場建設へ

化粧品製造を手掛ける当社グループの株式会社コスメサイエンスは、新工場を本年11月完成を目指し、建設することといたしました。これにより、同社の生産体制の拡充とグループ会社の北海製罐株式会社による日本市場では初となる新たなフィルム容器での化粧品・トイレタリー分野での製袋から充填までの一貫生産が可能となります。

設備の概要

内容	化粧品製造設備
投資総額	約14億円
設置場所	東京都北区浮間
完成予定	2015年11月

完成予想図（背景は倉庫）

連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	第90期 2015年3月31日現在	第89期 2014年3月31日現在
資産の部		
流動資産	**41,963**	**51,171**
現金及び預金	930	2,459
受取手形及び売掛金	24,748	29,664
電子記録債権	3,557	4,569
たな卸資産	9,160	10,097
繰延税金資産	616	712
その他	2,969	3,689
貸倒引当金	△20	△21
固定資産	**92,857**	**87,003**
有形固定資産	**64,732**	**61,748**
建物及び構築物	20,709	20,784
機械装置及び運搬具	17,468	18,352
土地	15,673	15,791
リース資産	2,883	1,094
建設仮勘定	7,641	5,432
その他	354	292
無形固定資産	**1,536**	**1,254**
投資その他の資産	**26,588**	**24,001**
投資有価証券	21,309	19,777
繰延税金資産	34	231
退職給付に係る資産	1,379	–
その他	4,064	4,144
貸倒引当金	△199	△151
資産合計	**134,820**	**138,175**

科目	第90期 2015年3月31日現在	第89期 2014年3月31日現在
負債の部		
流動負債	**45,500**	**50,242**
買掛金	19,465	27,300
短期借入金	14,084	11,422
リース債務	495	390
未払法人税等	132	748
賞与引当金	780	846
その他	10,541	9,534
固定負債	**42,308**	**38,152**
長期借入金	37,164	33,011
リース債務	819	908
繰延税金負債	746	151
退職給付に係る負債	2,808	3,266
その他	769	814
負債合計	**87,808**	**88,395**
純資産の部		
株主資本	**38,696**	**43,978**
資本金	**11,086**	**11,086**
資本剰余金	**10,750**	**10,750**
利益剰余金	**16,887**	**22,167**
自己株式	**△27**	**△26**
その他の包括利益累計額	**4,410**	**2,178**
その他有価証券評価差額金	**4,429**	**3,142**
繰延ヘッジ損益	**△6**	**△10**
為替換算調整勘定	**516**	**△94**
退職給付に係る調整累計額	**△529**	**△859**
少数株主持分	**3,905**	**3,623**
純資産合計	**47,012**	**49,780**
負債純資産合計	**134,820**	**138,175**

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	第90期 2014年4月1日から 2015年3月31日まで	第89期 2013年4月1日から 2014年3月31日まで
売上高	**152,931**	**169,714**
売上原価	138,942	152,306
売上総利益	**13,989**	**17,407**
販売費及び一般管理費	13,173	13,641
営業利益	**816**	**3,765**
営業外収益	**1,523**	**1,539**
営業外費用	**686**	**665**
経常利益	**1,652**	**4,639**
特別利益	**136**	**31**
特別損失	**6,257**	**949**
税金等調整前当期純利益(△は損失)	**△4,468**	**3,722**
法人税・住民税及び事業税	**455**	**1,399**
法人税等調整額	**△129**	**29**
法人税等合計	**326**	**1,429**
少数株主損益調整前当期純利益(△は損失)	**△4,794**	**2,293**
少数株主利益	**11**	**326**
当期純利益(△は損失)	**△4,805**	**1,966**

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	第90期 2014年4月1日から 2015年3月31日まで	第89期 2013年4月1日から 2014年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	**7,756**	**9,710**
投資活動によるキャッシュ・フロー	**△15,138**	**△9,743**
財務活動によるキャッシュ・フロー	**5,706**	**673**
現金及び現金同等物に係る換算差額	**63**	**101**
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	**△1,611**	**741**
現金及び現金同等物の期首残高	**2,459**	**1,470**
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	**82**	**248**
現金及び現金同等物の期末残高	**930**	**2,459**

連結株主資本等変動計算書(要旨)

第90期(2014年4月1日から2015年3月31日まで)

(単位:百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額					少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	11,086	10,750	22,167	△26	43,978	3,142	△10	△94	△859	2,178	3,623	49,780
会計方針の変更による累積的影響額			445		445							445
会計方針の変更を反映した当期首残高	11,086	10,750	22,612	△26	44,423	3,142	△10	△94	△859	2,178	3,623	50,226
当期変動額												
剰余金の配当			△504		△504					–		△504
当期純損失			△4,805		△4,805					–		△4,805
自己株式の取得				△1	△1					–		△1
連結範囲の変動			△415		△415					–		△415
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						1,287	4	610	330	2,232	281	2,513
当期変動額合計	–	–	△5,725	△1	△5,727	1,287	4	610	330	2,232	281	△3,213
当期末残高	11,086	10,750	16,887	△27	38,696	4,429	△6	516	△529	4,410	3,905	47,012

会社概要

商　　号	ホッカンホールディングス株式会社 HOKKAN HOLDINGS LIMITED
本　　社	東京都千代田区丸の内二丁目2番2号 丸の内三井ビル　TEL03-3213-5111
設　　立	1950(昭和25)年2月1日 (創立 1921(大正10)年10月23日)
資 本 金	110億8,652万4,995円
従業員数	26名
事業内容	(1)各種空罐、容器の製造販売 (2)清涼飲料水・酒類その他各種飲料の受託充填および販売 (3)乳製品・菓子類の受託製造販売 (4)レトルト食品の受託製造販売 (5)各種化粧品の受託製造販売 (6)各種機械の製造販売 (7)機械器具設置工事業 (8)倉庫業 (9)土木・建築工事の設計、施工請負

株式の状況

発行可能株式総数	240,000,000 株
発行済株式の総数	67,346,935 株
株主数	6,402 名

大株主

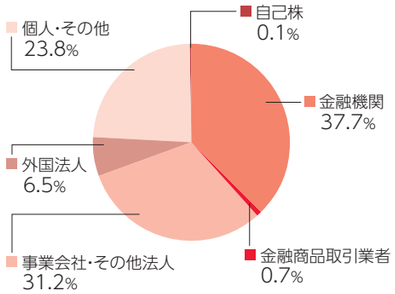
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社トーモク	5,926	8.81
日本生命保険相互会社	3,274	4.87
株式会社みずほ銀行	3,273	4.87
ホッカンホールディングスグループ取引先持株会	2,851	4.24
農林中央金庫	2,000	2.97
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,814	2.70
東京海上日動火災保険株式会社	1,805	2.68
株式会社北海道銀行	1,765	2.63
株式会社メタルワン	1,700	2.53
ＪＦＥスチール株式会社	1,565	2.33

(注)持株比率は自己株式(84,032株)を控除して計算しております。

役員

取締役社長(代表取締役)	工藤常史
常務取締役	山崎節昌
常務取締役	池田孝資
取締役	久保田裕一
取締役	藤本良一
取締役	小池明夫
取締役	武田卓也
常勤監査役	大塩恭介
監査役	寺嶋　勉
監査役	新名孝信
監査役	安藤信彦

所有者別分布状況



当社のホームページでは株主・投資家の皆様に対して、
企業情報や財務情報をはじめとして、当社の事業活動や動向を紹介しております。
また、この度、**英文サイト**と**個人投資家向けサイト**を開設し、**IR情報メールの配信サービス**をスタートいたしました。
当社をよりご理解いただくためにも、是非アクセスしてください。

http://www.hokkanholdings.co.jp/

個人投資家向けサイト

IR情報メールの配信サービスにご登録ください!

最新のニュースリリースやホームページの更新情報などを、ご登録の皆様に電子メールにてお知らせいたします。